

21 . ITI財別貿易マトリックス 2002 年版

世界貿易を俯瞰し世界貿易の動向が把握できる「財別貿易マトリックス」を作成した。
その特徴は次のとおりである、

- (1) 最新時点のデータ利用ができるマトリックスを作成する。公表が早い主要国のデータをもとにすることで、最新時点のマトリックスを翌年の7月頃までに完成させる。
- (2) 時系列データ利用を可能にする。最新時点だけでなく複数年次のマトリックスを作成できること、毎年継続的に作成できることを目標に、多時点間の比較ができる。
- (3) 輸出入総額だけでなく、財別・商品別のマトリックスを作成する。各国の貿易統計をもとにした作成方法の長所を活かし、HS 関税分類にもとづいて品目別のマトリックス作成ができる合理的な方法を確立する。
- (4) 利用目的に応じて使い勝手のよいマトリックスに組替えて使用できる。そのためにできるだけ多くの国・地域を含む〔基本表〕を作成しておき、必要に応じて国・地域別に集約することで、目的に応じた小型のマトリックスに集約する。(例えば、APEC 加盟国間や東アジア諸国間の貿易など特定地域に焦点を当てたマトリックスなど。)
- (5) 対象品目は次の 46 品目である。
 - 1) 総額
 - 2) 機械機器
 - 3) 一般機械
 - 4) 電気機器
 - 5) 輸送機器
 - 6) 輸送機器 - 自動車
 - 7) 輸送機器 - 自動車 - 乗用車
 - 8) 輸送機器 - 自動車部品
 - 9) 精密機器
 - 10) 化学品
 - 11) 化学品 - 化学工業品
 - 12) 化学品 - 化学工業品 - 医薬品 & 医療用品
 - 13) 化学品 - プラスチック・ゴム
 - 14) 食料品
 - 15) 食料品 - 穀物
 - 16) 油脂その他の動植物生産品
 - 17) 油脂その他の動植物生産品 - 動植物性油脂
 - 18) 雑製品
 - 19) その他原料及びその製品

- 20) その他原料及びその製品 - 鉱物性燃料等
- 21) その他原料及びその製品 - 鉱物性燃料等 - 鉱物性燃料
- 22) その他原料及びその製品 - 鉱物性燃料等 - 鉱物性燃料 - 石油及び同製品
- 23) その他原料及びその製品 - 繊維及び同製品
- 24) その他原料及びその製品 - 繊維及び同製品 - 合成繊維及び同織物
- 25) その他原料及びその製品 - 繊維及び同製品 - 衣類
- 26) その他原料及びその製品 - 繊維及び同製品 - 衣類 - ニットのもの
- 27) その他原料及びその製品 - 繊維及び同製品 - 衣類 - ニット以外のもの
- 28) その他原料及びその製品 - 卑金属及び同製品
- 29) その他原料及びその製品 - 卑金属及び同製品 - 鉄鋼
- 30) その他原料及びその製品 - 卑金属及び同製品 - 鉄鋼 鉄鋼の一次製品
- 31) その他原料及びその製品 - 卑金属及び同製品 - 鉄鋼 鉄鋼製品
- 32) I T 関連機器 (合計)
- 33) I T 関連機器 (合計) - コンピュータ及び周辺機器類 (合計)
- 34) I T 関連機器 (合計) - コンピュータ及び周辺機器類 (合計) - コンピュータ及び周辺機器
- 35) I T 関連機器 (合計) - コンピュータ及び周辺機器類 (合計) - コンピュータ部品
- 36) I T 関連機器 (合計) - 事務用機器類
- 37) I T 関連機器 (合計) - 通信機器
- 38) I T 関連機器 (合計) - 半導体等電子部品類
- 39) I T 関連機器 (合計) - 半導体等電子部品類 電子管・半導体等
- 40) I T 関連機器 (合計) - 半導体等電子部品類 集積回路
- 41) I T 関連機器 (合計) - その他の電子部品
- 42) I T 関連機器 (合計) - 映像機器類
- 43) I T 関連機器 (合計) - 音響機器
- 44) I T 関連機器 (合計) - 測定機・電子部品類
- 45) I T 関連機器 (合計) - 部品
- 46) I T 関連機器 (合計) - 最終財

なお、貿易マトリックスの特徴を選び出した付属表編が圧他、電子媒体の利用も可能である。